

採用×ウェビナー の最前線

オンライン採用成功のカギとなる
ウェビナーの活用方法を
実際のケースを元に体系化

クスノセ・アンド・カンパニー株式会社
品川動画スタジオ



コロナ禍で採用に成功する企業vs失敗する企業

昨年度からのコロナ禍は企業の採用活動にも大きな影響を与えています。中には、「会社説明会を計画していたけど中止にした」「2020年はインターンを行えなかった」といった声も上がっています。その結果「思っていたよりも採用ができなかった…」といった悩みを抱える企業も少なくありません。

ですが、その一方で、コロナ禍の影響を受けながらも優秀な人材の採用に成功している企業もあります。むしろ、例年よりも採用人数を減らした企業から溢れた学生を囲い込み、大きなチャンスへと変えています。

では、一体何がこの違いを分けているのでしょうか？

コロナ禍で採用に成功する企業と失敗する企業、その差を分けているのが、**オンライン採用に対応できているかどうか**です。

会場に人を集められない…会社に学生を呼ぶことができない…といったハンデがあっても、オンラインなら全く問題なく、むしろ、これまでは逢えなかった遠方の地方の学生まで広くアプローチすることができるからです。

オンライン採用と聞くと、面接をオンライン化したZoomを使ったWEB面接をイメージされるかもしれませんが。実際2021年卒の学生の29.3%がWEB面接のみで就職先を決定しているというデータがあります。

参照：あさがくナビ2021登録会員対象 2021年卒学生の就職意識調査(就職活動の振り返り) 2021年2月版
[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000672.000013485.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000672.000013485.html)



間違ったオンライン採用＝面接だけをオンライン化

もちろん、WEB面接を導入して面接をオンラインで実施できるようにすることは大切です。

ですが、WEB面接に至るまでに乗り越えなければならない大きな壁があります。

それが、**学生に具体的な企業情報を伝えて自社の魅力を感じてもらい「ここで働きたい！」と思ってもらうことです。**実際、オンライン採用の実態では残酷なデータがあります。

51.2%の学生が就活のオンライン化で**実際に働くイメージに不足感**を感じている

参照：2022年卒ブンナビ学生アンケート調査概要 <https://www.value-press.com/pressrelease/256720>

42.2%の学生が**WEB面接では企業の雰囲気がわかりにくかった**と回答

参照：あさがくナビ2021登録会員対象 2021年卒学生の就職意識調査(就職活動の振り返り) 2021年2月版
<https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000672.000013485.html>

オンラインでは**応募者の人柄や雰囲気が伝わりづらい**と感じた企業は**70.6%***

*Copyright © ZENKIGEN, Inc. All Rights Reserved.

参照：株式会社ZENKIGEN WEBアンケート調査 <https://hrog.net/news/trend/89005/>

学生側がオンライン採用で、圧倒的に情報不足に陥っていることがわかります。特に、これまでは対面で顔をあわせることで伝わっていた、社風や働くイメージが伝わらなくなっています。

さらに、WEB面接だけでは企業側も学生の雰囲気や人柄を感じ取りづらく自社に最適な人材の選定が難しいため、応募の時点で自社に合う人材を集めておくことが必須になりつつあります。そのため、自社の価値観や文化、働く人の雰囲気をオンラインで伝えることはさらに重要性を増しています。



ウェビナーの活用＝オンライン採用の成功

そして、この課題を解決するのがウェビナーの活用です。

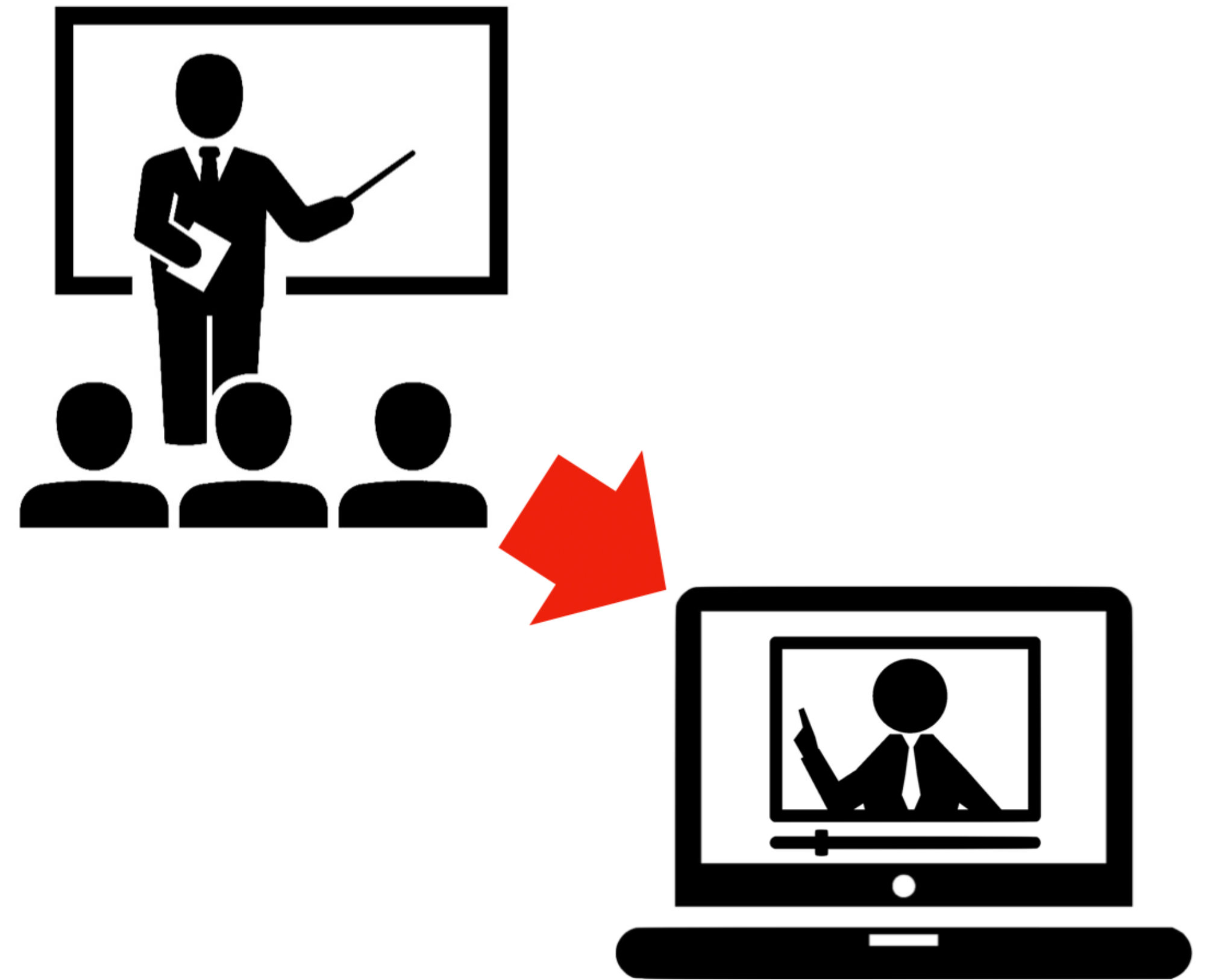
これまで対面で行ってきたけれど、採用がオンライン化したことで実施しづらくなった採用活動をウェビナーに置き換えることで、自社の魅力を学生に感じてもらうことができ、自社の文化・価値観に合った学生だけが応募してくる、そんな状態を作り出すことができます。

さらに、今ならまだ本格的にオンライン採用にウェビナーを取り入れている企業もが少ないため、これから紹介する3つの施策をやるだけで他社と差をつけることができ、人材採用の勝ち組企業の仲間入りを果たすことができます。

では、具体的にオンライン採用においてウェビナーをどのように活用すれば良いのでしょうか？

品川動画スタジオではこれまでに、採用目的のウェビナーの開催でも多くの企業様にご利用いただいています。

その中で見えてきた、**オンライン採用の勝ち組企業だけが実践しているウェビナーの3つの活用方法**を、私たちが実施してきた経験をベースに紹介していきます。



対面の採用活動をウェビナーに置き換える

【1】WEB説明会



概要

会社説明会をオンライン化

まず最初にウェビナーに置き換えられるのが個別の会社説明会です。おそらくほぼ全ての企業が就活生を対象に会社説明会を実施しているでしょう。自社の情報を知ってもらうと同時に、雰囲気を感じてもらったり、学生側からの疑問に答えたりと、就活の序盤で効果的にアプローチすることができます。

向いているプラットフォーム

YouTube（+Zoomなど）

実施の流れ

1. 求人媒体や求人広告を使って学生のリストを集める
2. 撮影会場や機材スタッフを揃える
3. ライブ配信の準備をする
4. 学生にWEB説明会閲覧用のURLをメール等で案内する
5. ライブ配信しながら質問等をチャットで受け付ける
6. 遠隔で社員と繋がりたい場合はZoom等を併用する

WEB説明会のメリット

1、参加者が増加する

会社説明会をオンライン化することで、移動負荷が大きく中々会社説明会に参加することができなかった地方の学生も参加しやすくなります。地方でなくても移動する必要がなく、「軽く聞いてみたい」といった層からの申し込みもあるので、結果として会場に人を集める場合と比べて参加者数が増加する傾向があります。

実際、品川動画スタジオでWEB説明会を開催された企業様は「例年の3倍の人数が参加」「前年度10倍の人数が参加」といった結果になっています。

また、会場や貸し会議室で会社説明会を実施する場合、参加人数が増えるとより広い場所を用意する必要があり、その分コストも追加でかかってきますが、WEB説明会の場合は何名増えても、追加の業務・コストが発生せず、飛び入り参加があったとしても問題ありません。

2、質問が活発化する

会社説明会に来る就活生は緊張していることが多いです。そのため、対面での会社説明会だと本当に聞きたいことがあっても、周りの目が気になって本当に聞きたいことを質問できない…といった状態になりがちです。

WEB説明会なら、例えばチャットを使うことで気軽に質問することができるので、質問も活発化して、学生が本当に知りたいことを伝えることができます。

実際、品川動画スタジオでYouTubeを使ってWEB説明会を実施した際、数百件のコメントが入り、例年よりも質問が活発化しました。

3、動画で効率化できる

そもそも年に何回も会社説明会を開催するのは大変です。しかも、同じ内容を話すことが大半なので非効率的です。

WEB説明会は、企業側が説明するパートと、チャットできた学生からの質問に答えるパートがあります。質疑応答はライブでやり取りする必要がありますが、企業が説明するパートは一度ライブ配信で実施しておけば、動画データとして残すことができるので、2回目以降は動画を再生するだけで済みます。

また、YouTube上に動画を公開しておけば、日時的に都合が合わずに参加できなかった学生も会社説明の動画を見ることができます。

合同オンライン企業説明会に申し込んだから安心？

会社説明会には、複数の企業が合同で実施するものと、各社が個別に実施するものがあります。それぞれに良いところはあるのですが、ある調査によると合同企業セミナーで「オンラインのみでの情報収拾は不安」と回答した学生が80.2%いることがわかっています。

参照：あさがくナビ2021登録会員対象 2021年卒学生の就職意識調査(就職活動の振り返り) 2021年2月版 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000619.000013485.html>

広く社名を知ってもらうという意味では合同オンライン企業説明会は効果的ですが、より詳しい情報を伝えるには企業ごとの説明会が必要であることがわかります。

WEB説明会を成功させるには？

1、相手が知りたいことを伝える

WEB説明会の最大のポイントは、学生が知りたがっている情報を伝えることです。給料や福利厚生などの勤務条件はテキストだけでも十分伝わりますが、企業の雰囲気や働いている人のイメージはテキストだけで表現するのは難しいです。

なので、WEB説明会では、企業や働く人の雰囲気、働き方のイメージを持ってもらえるような情報発信が重要になります。

例えば、自社の会議室を使って配信する場合は途中で社員に参加してもらいインタビューをする、動画スタジオや貸し会議室から配信する場合はZoom等を用いて遠隔で社員にインタビューするなどすれば、実際に働いている人の雰囲気やイメージを伝えることができます。



2、素人の配信感を無くす

学生のWEB説明会に対する印象は、企業イメージに直結します。内容が充実していることはもちろん大切ですが、それだけではなく見た目や運用のスムーズさもシビアに見られます。

社員が自宅から配信するような「手作り感」は学生のガッカリポイントに直結します。

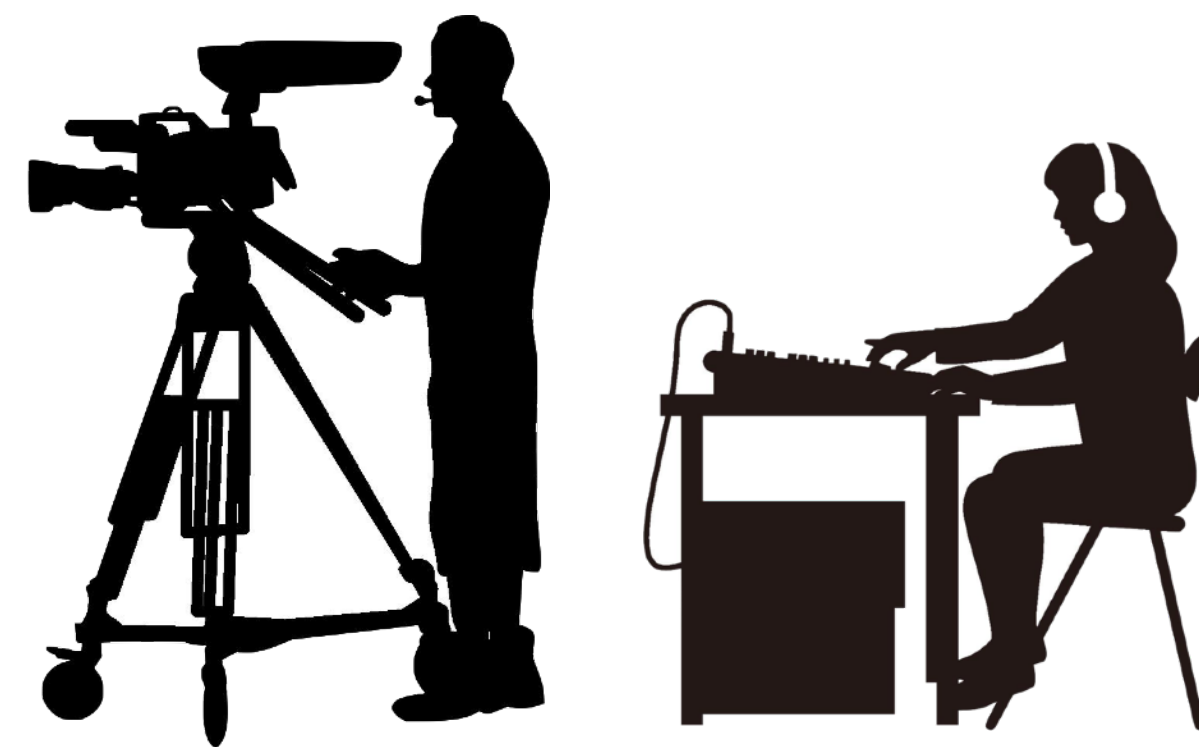
配信が途切れる心配がない環境で、高音質・高画質で映像と音を届け、トラブルが起きないように対策することで、他とは違うWEB説明会で差をつけることができます。



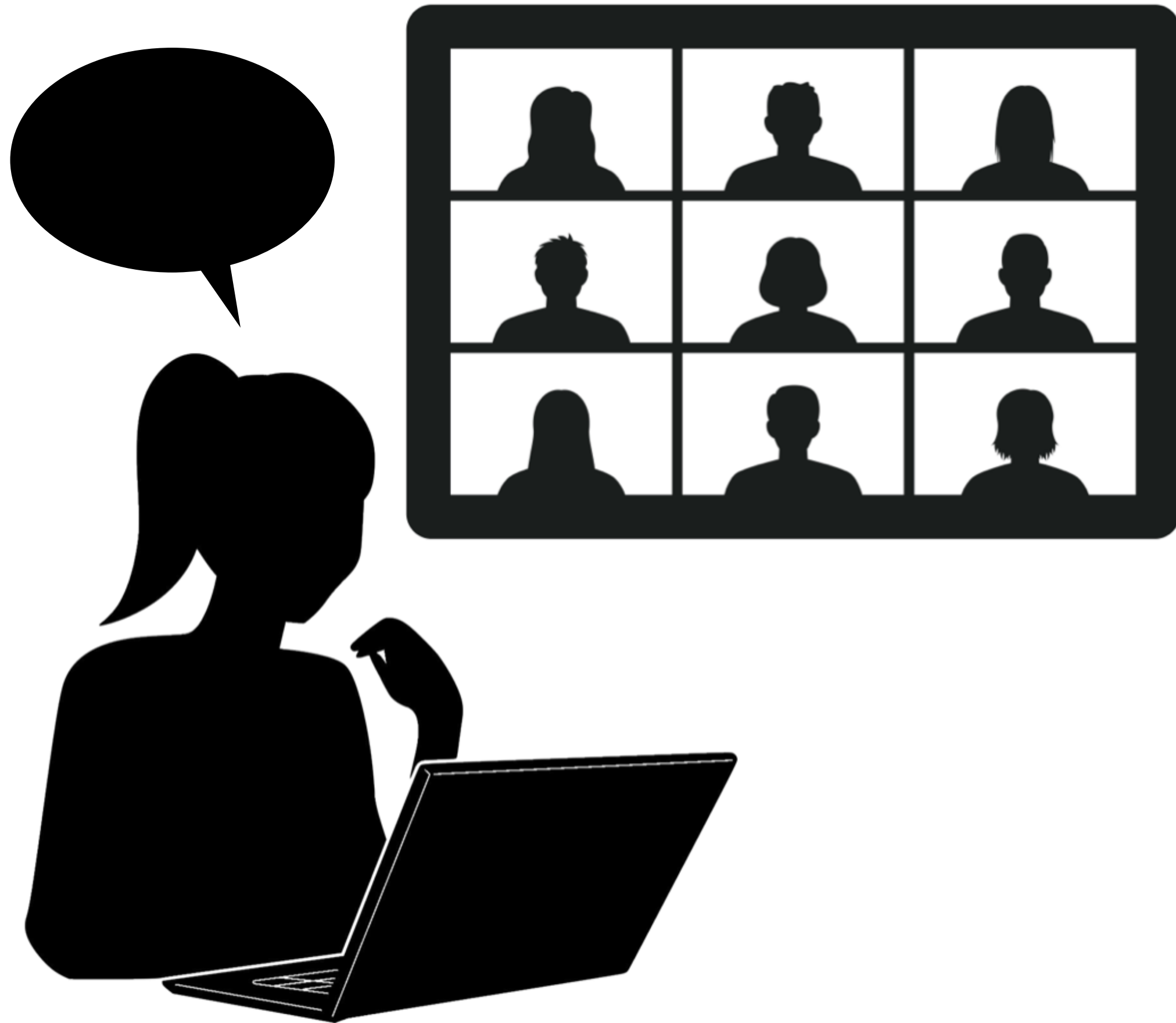
3、リハーサルをする

例えば、企業の雰囲気をより感じてもらうために遠隔で社員に実際の職場から出演してもらう場合、普通のウェビナー配信よりも複雑なオペレーションで実施することになります。そのため、必ず事前にリハーサルを行い、本番でスムーズに配信できるようにすることが大切です。

どれだけ内容・見た目にこだわってもトラブルが多発して、グダグダになってしまうと台無しなので、しっかりとリハーサルができるように計画の段階からリハーサルの時間と場所、人手を確保しておきます。



【2】オンラインインターン



概要

オンライン上で実施するインターンシップ

あまり馴染みがないかもしれませんが、インターンシップもウェビナーを活用することでオンラインで開催することができます。インターンに参加してもらうことで、学生に実際に働くイメージを持ってもらえ、会社合っているかどうかを判断してもらえるので、魅力を伝えると同時にミスマッチを減らすこともできます。

向いているプラットフォーム

YouTube+Zoomなど

実施の流れ

1. 求人媒体やSNSを使って学生のリストを集める
2. オンラインでも実施できるインターンプログラムの内容を考える
3. 動画配信用の会場や機材スタッフを揃える
4. ライブ配信の準備をする
5. 学生に参加用のURLをメール等で案内する
6. 説明する時はYouTube、グループワークをする時はZoom等のWEB会議システムを使い分けながら配信する

オンラインインターンのメリット

1、オンラインでも大満足

「オンラインでやったところで学生は参加しないんじゃないか？」と思われるかもしれませんが、オンラインであってもインターンを開催すると学生が集まることはデータ上からも明らかになっています。

例えば、インターンシップに参加した学生の中でオンラインインターンシップに参加した割合83.2%で、52.1%はオンラインのみで参加

参照：あさがくナビ2021登録会員対象 2021年卒学生の就職意識調査(就職活動の振り返り)
2021年2月版 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000652.000013485.html>

「直接訪問のインターンシップ」に参加を希望する学生は、92.6%、「オンライン実施のインターンシップ」に参加を希望する学生は、88.3%

参照：あさがくナビ2021登録会員対象 2021年卒学生の就職意識調査(就職活動の振り返り)
2021年2月版 <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000610.000013485.html>

エン・ジャパンの調査より、22卒学生の88%が全日程オンラインでのインターンシップに参加経験あり、72%が「満足」（とても満足：14%、満足：58%）と回答

参照：エン・ジャパン『iroots』ユーザーアンケート <https://www.atpress.ne.jp/news/228237>

このように、オンラインであっても学生が参加してくれることがわかり、しっかりと企画されたインターンプログラムであれば、満足に感じてもらうことがわかります。

2、会える学生の幅が広がる

学生の移動負荷が減るので遠方の学生を中心にインターンに参加しやすくなります。特に数日間に渡って実施される場合、地方の学生が都心部の企業のインターンに参加しようとする宿泊の必要性も出てくるので、出費がかさむ課題もあります。

オンラインインターンなら、どこからでも参加することができるので、地方の学生も参加しやすく、これまでのインターンだと出会えなかった学生にも参加してもらえ、より自社が求める人材と会える可能性が高くなります。

3、ミスマッチを防ぐ

WEB面接だけだと企業側も学生の雰囲気や人柄を中々把握することができません。

オンラインインターンに参加してもらうことで、学生に自社で働くイメージを明確に持ってもらえるので、「ここは自分に合っている」と感じる学生だけが応募してくるようになり、相手と直接会えないことでのミスマッチを防ぐことができます。



よく練られたプログラムなら
オンラインでも学生が大満足の
インターンは実施できる

オンラインインターンを成功させるには？

1、プログラムを作り込む

オンラインでインターンを実施する場合、これまで通り対面形式で実施していた方法ではプログラムを実施できなくなることがあります。特にグループワークやディスカッションなどがオンラインでは難しくなります。

とはいえ、難しいからといって企業側が一方通行で話をするだけだとインターン参加者の満足度が下がり、その先の応募へと繋がりません。逆にオンラインに特化したプログラムがきちんと組み立ていたり、社員と学生がしっかりコミュニケーションが取れるオンラインインターンは満足度が高くなります。

参照：エン・ジャパン『iroots』ユーザーアンケート
<https://www.atpress.ne.jp/news/228237>



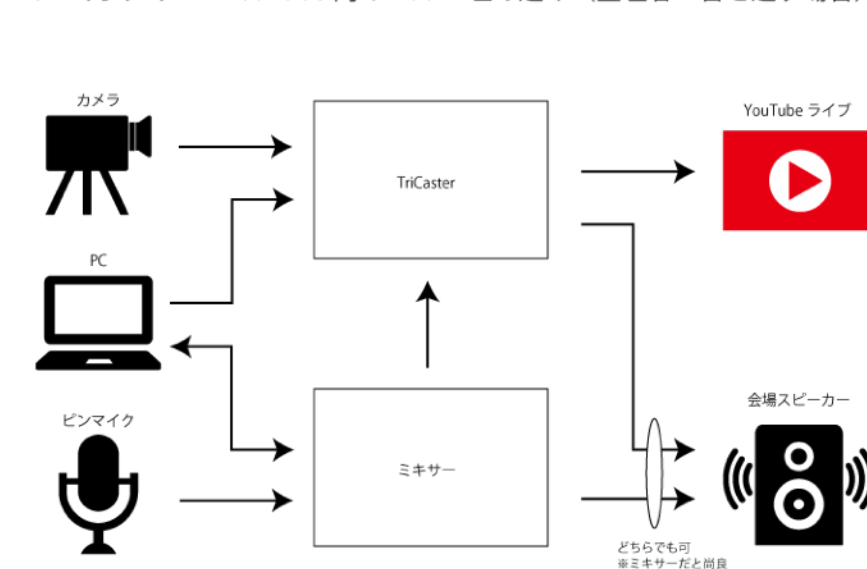
2、適切なウェビナーの設計

一方通行で話をすれば良い訳ではない分、実施する際のオペレーションが複雑になります。

例えば、企業側から説明する際はYouTubeを使い、グループワークではZoomやMicrosoft teamsなどのWEB会議システムを使い、画面を切り替えながら進めていく…といった上級者向けのウェビナーになります。

なので、プログラムの中身をオンラインに特化して作り込むことはもちろん大切ですが、プログラムを問題なく実施するためのウェビナーの設計が同じくらい重要になってきます。どのプラットフォームを使うのか、配信機材同士をどう繋ぐのか、など設計を考えます。

配線図 YouTube 内の Zoom 埋め込み（登壇者へ音を返す場合）



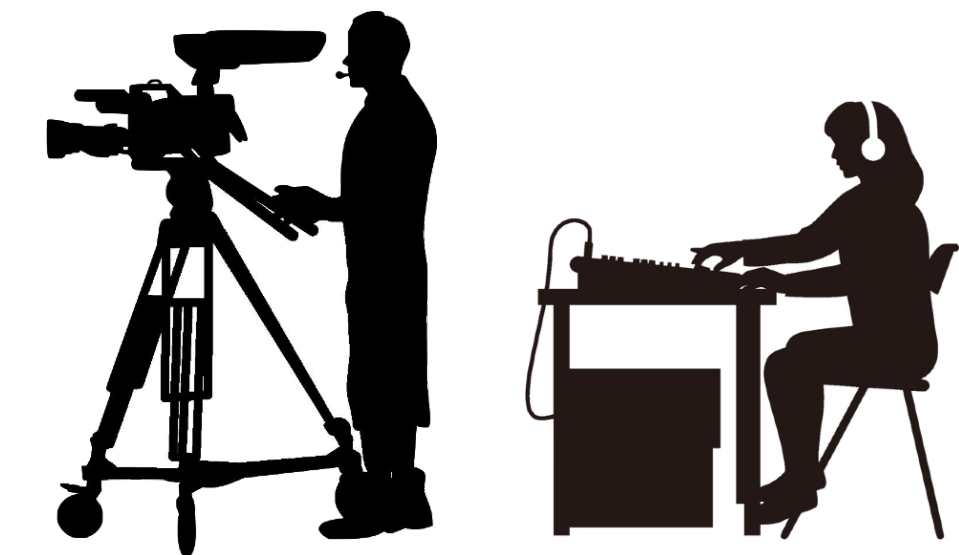
3、リハーサルをする

オンラインインターンのような複雑なウェビナーで事前の設計と同じく重要になってくるのがリハーサルです。

リハーサルをしないと想像がけないトラブルで運営がうまくいかず、学生の印象が悪くなるリスクがあります。実際「スライドの転換で戸惑っていた」「企業の通信が途中で悪くなった」「コミュニケーションが取りづらかった」というのは不満足の原因として挙げられています。

参照：エン・ジャパン『iroots』ユーザーアンケート
<https://www.atpress.ne.jp/news/228237>

そうならないために、必ず1度リハーサルをしてトラブルのリスクを減らし、本番ではスムーズな運営ができるように準備しておくことで、参加学生から大満足の結果を得ることができます。



【3】オンライン内定式・入社式



概要

内定式・入社式のオンライン化

コロナ禍で内定式や入社式もやりづらくなりましたが、ウェビナーを活用すれば、内定者や新入社員同士が初めて顔合わせをして、お互いを認識し、社長・役員からのメッセージを伝えて企業文化を浸透する場をオンライン場で再現することができます。

向いているプラットフォーム

YouTubeもしくはZoomなど

実施の流れ

1. 撮影会場や機材スタッフを揃える
2. ライブ配信の準備をする
3. 内定者・新入社員にWEB説明会閲覧用のURLをメール等で案内する
4. トップメッセージなどは事前に収録しておいた動画を共有する
5. 内定者同士のコミュニケーションを図りたい場合はZoom等を利用する

オンライン内定式・入社式のメリット

1、参加者の移動負担が減る

オンラインでの内定式・入社式であれば、新卒学生は自宅から参加することができるので、移動の負担がなくなり、参加しやすくなります。特に地方の学生が都心部の企業に就職する場合などは、宿泊費などもかからなくなるので、経済的負担を減らすこともでき、間接的に印象を良くすることができます。

2、役員の日程調整が簡単

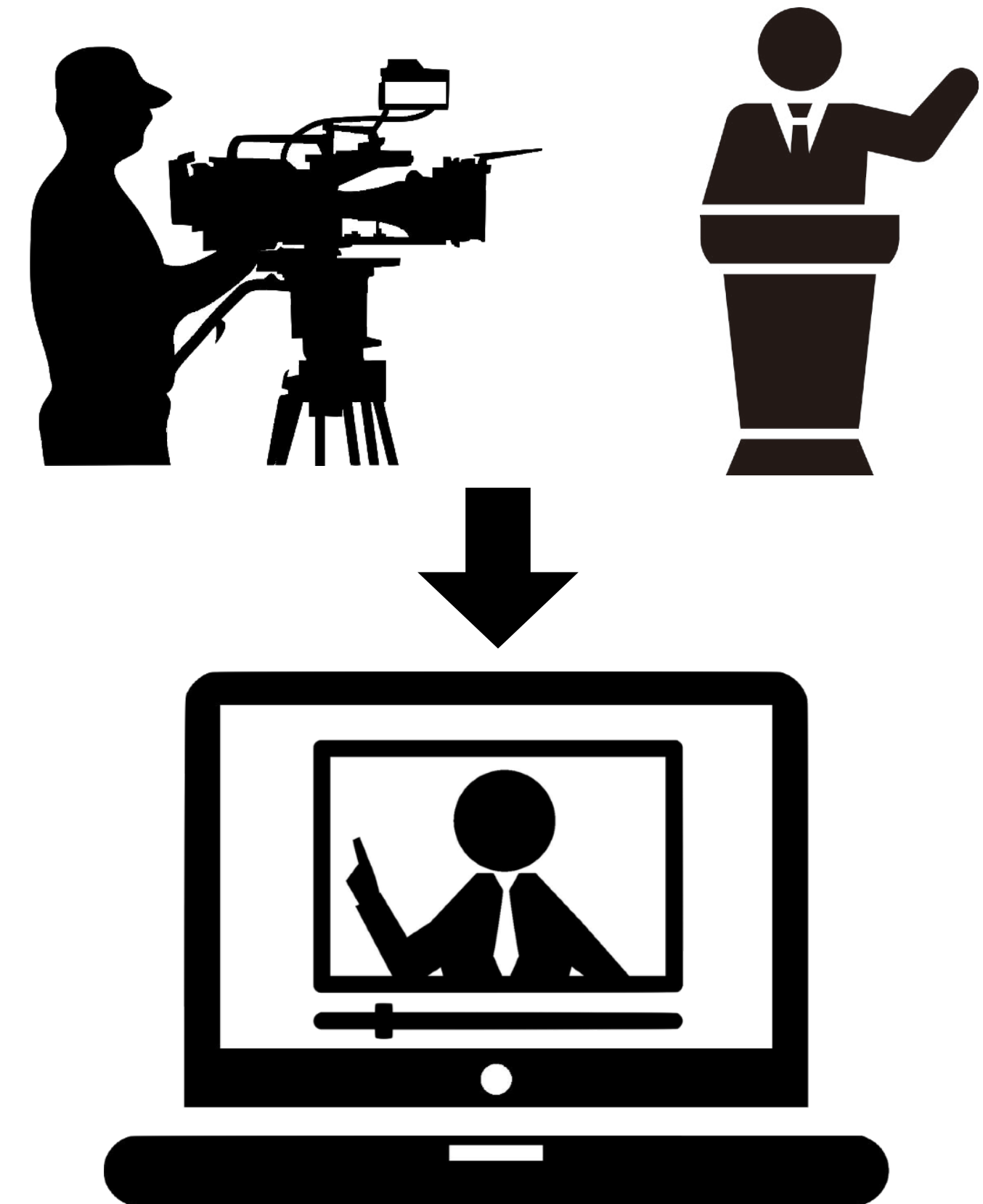
内定式・入社式に欠かせないのが、トップメッセージです。社長をはじめ、普段の業務では中々顔を合わすことができない役員から話を聞くことで、最初のモチベーション向上につながります。

とはいえ、忙しい役員の日程を調整するのは大変です。特に複数の役員に出演してもらいたいと考えている場合、なかなか実施日を決めることができません。

オンラインの場合、トップメッセージを事前に収録しておき、当日はその動画を流すことで、自然にトップメッセージを伝えることができます。事前収録なら各役員の都合の良い日に合わせて収録しておけば当日会場にいなくても良いので、日程調整が楽になります。

また、一度収録しておけば次年度以降もそのまま使えるので、コストカットになります。実際、ウェビナーでトップセミナーの動画を活用することで平均48万円をコストカットできるというデータもあります。

参照：ギビー福岡 >> 採用動画のメリットとは？活用事例を踏まえて解説
<https://givee-fukuoka.com/recruitment-video-merit>



事前収録を利用すれば
日程調整の業務が不要になる

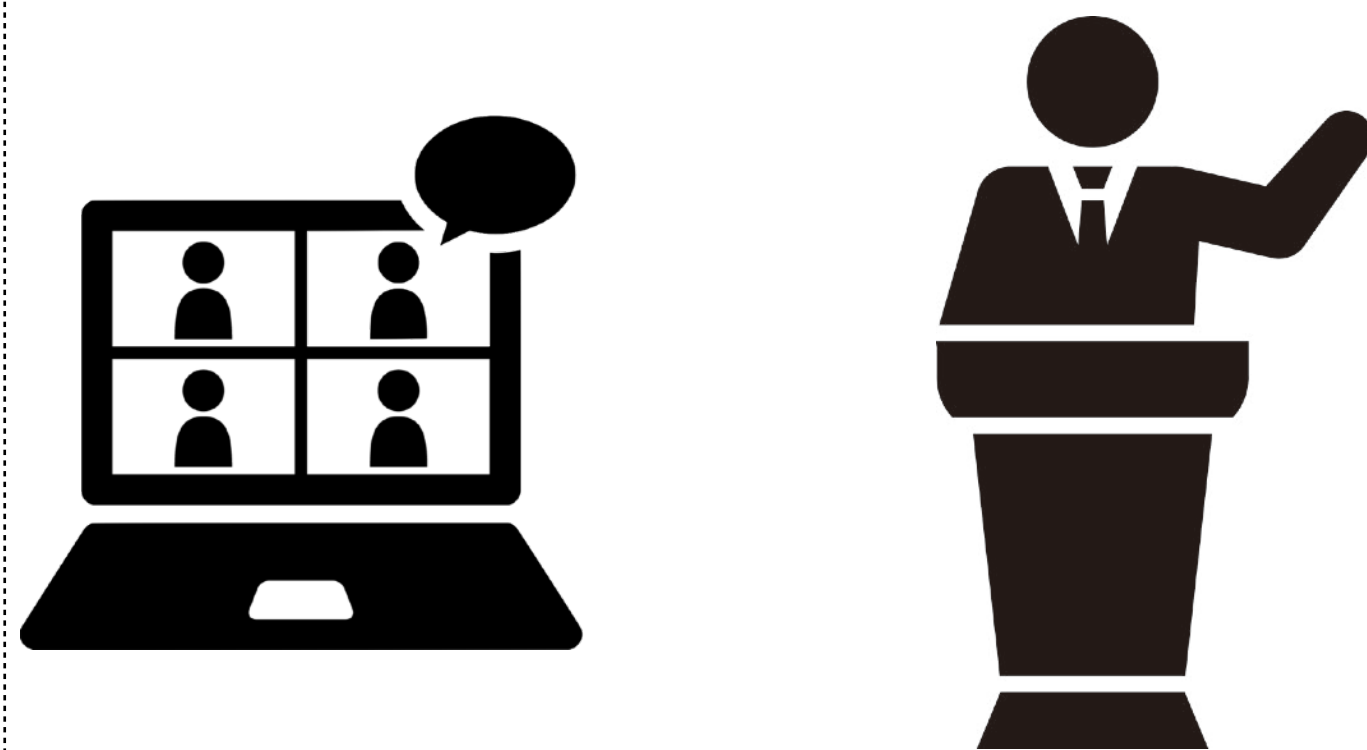
オンライン内定式・入社式を成功させるには？

1、目的の明確化とプラットフォーム選び

まずはオンライン内定式・入社式で何を達成したいのかを考えます。顔合わせをしてコミュニケーションをとりたいのか？トップメッセージを伝えてモチベーションを高めたいのか？など、目的を決めます。

目的が決まったら、その目的を達成するために最適なウェビナー手法や、YouTubeやZoomなどの配信プラットフォームを選択します。

最初に目的を決めておくことで、やるべきことや逆にやらなくて良いことも整理されるので、スムーズに計画を進めることができます。



2、演出にこだわる

新入社員や内定者に対して行うイベントの仕上がりによって、新卒学生の中での会社の印象は大きく変わります。そのため、中身にこだわるのはもちろんですが、見栄え（画質・音質）も重要になってきます。

なので、ウェビナー配信に最適な環境を整えることが必要です。周りの雑音は入らないか、明るさは十分か、画質と音質を担保するカメラやマイクがあるか、ネット回線は安定しているかといったことに気をつけて、最適な環境と機材（と、それを使いこなせる人）を用意します。



3、リハーサルでトラブル防止

学生からの印象に影響を与えるのは、見栄えだけでなく運営のスムーズさも含まれます。

せっかく演出にこだわって質の高い配信をしていたのに、途中原因不明のトラブルで画面が固まってしまう、あたふたしている様子が伝わってしまう...といったことがあると、せっかくの式典が台無しになってしまいます。

なので、当日トラブルが起きないように、起きても冷静に対応できるように、必ず事前に本番と同じ環境でリハーサルをしておきます。



採用にウェビナーを導入したいけど失敗したくない…

今回はオンライン採用を成功させるためのウェビナーの活用方法を紹介してきました。これまで採用活動の中で対面形式で行ってきた

- ✓ 会社説明会
- ✓ インターンシップ
- ✓ 内定式・入社式

を、それぞれウェビナーに置き換えることで、オンライン採用を実施していく中で、コロナ禍の影響に関係なく、採用活動を効率化してコストカットを実現し、何よりも、自社が理想とする人材だけを採用できるようになることを感じていただけたと思います。

あなたも、このレポートを参考にして、ぜひ自社のオンライン採用でウェビナーを活用してみてください。

とはいえ、「本当に自社のリソースだけで実現できるのかが不安…」 「採用に関わる大切な採用だから失敗できない…」 「具体的にどんな感じになるのか一度試してみたい！」と思われる方のために、今回紹介した3つのウェビナー活用方法のうちの1つで、最も実施される企業が多いWEB説明会を私たちに丸ごとお任せいただけるプランをご用意しました。

「失敗するリスクのなる配信の準備と運営を手放して、会社説明会の中身を考えることに時間と人手集中させたい」と思われる方は、次のページから詳細をご確認の上、ぜひご利用ください。



【WEB説明会丸ごとおまかせパック】のご案内

「配信面をプロに任せて内容づくりに集中したい」「採用に関わる大事なウェビナーだから失敗できない」といった方のためのサービスです

パッケージの内容

- ・スライドの背景合成もできる**動画スタジオ利用権（4時間分）**
- ・高品質なウェビナーを実現できる**機材一式**
- ・準備～当日まで**専門スタッフのフルサポート**
- ・配信が途切れる心配のない**安定したネット回線**
- ・Zoom、YouTubeなど**配信媒体の設定代行**
- ・スムーズな進行に不可欠な**事前リハーサル（1時間）**

選ばれる理由

豊富なサポート実績

これまで100社以上のウェビナーをサポートしてきた実績があります。

入念な準備とリハーサル

ウェビナーを成功させるために絶対に欠かせない、準備やリハーサルを細かく実施します。

配信を丸投げできる

ウェビナー開催に必要なこと全て丸投げ可能です。専門知識や機材は一切必要ありません。

価格

30万円～（税別）

詳しくは… 品川動画スタジオへお問い合わせください！



<https://shinagawa-douga-studio.com>



050-5539-2004